家屋･償却資産の明細

	内容	数量	金額	備考
家屋	工場建設工事 ・家屋本体工事 ・電気工事 ・空調工事 ・給排水工事 ・舗装工事	一式	○○○，○○○千円	
小計①			○○○，○○○千円	
償却資産	○○製造装置 ○○加工装置 ○○○○装置 ○○○○装置	２台 一式 一式 一式	○○，○○○千円 ○○，○○○千円 ○，○○○千円 ○，○○○千円	
小計②			○○，○○○千円	
合　計 (①+②)			○○○，○○○千円	

（消費税及び地方消費税を含まない。）

※工事着手日　令和　年　月　日（市町村への提出日 令和　年　月　日）

資金計画

・自己資金　５０％
・銀行借入　４０％　（日本政策金融公庫２０％、取引銀行２０％）
・補助金　　１０％

○ 当補助金は、企業の域外の流出防止を目的としているため、単に一部の設備の更新・導入は対象とはなりません。
○ 補助対象経費が償却資産のみの場合は、工場内の老朽化した設備を一新する、又は新製品製造のための設備投資等であって、新たに導入される償却資産が工場フロアの過半の数又は設置面積を占める場合を対象とします。
○ 償却資産については、具体的な用途が分かる程度の名称を記載してください。
○ 最初の稼働があった装置から、1年以上を置いて発注されるものは、原則、一連の投資と認められず補助対象となりません。
○ また、事務用備品など、直接製造に寄与しないものは補助対象とはなりません。
○ 申請と異なる目的の装置を導入した場合は、補助対象として認められません。
○ リースによる取得や別主体による取得は補助対象となりません

添付資料①「補助事業により主に製造又は研究する製品を説明する書類」

１．会社の業務内容の特色及び投資の経緯

① 会社概要の紹介、強み、現在の事業環境、当地で立地を計画するに至った経緯を記載。（※800 文字程度で記載してください。）

≪記載例≫

当社は昭和・・年・・市において創業し、切削加工による・・などの自動車部品等の製造を行ってきた。

今後成長が期待される次世代自動車分野において、更なる燃費性能向上のためには、・・・が必須であり、取引先自動車部品メーカーから部品の・・・の要求が高まっている。

また、近年、取引先自動車部品メーカーは、生産拠点を海外に移転しており、部品の現地調達が進んでいることから、価格面で優位性のある海外の部品メーカーとの競合が起きており、これに対抗するには、・・・する必要がある。

こうした状況の中、主要取引先からは、当社の強みである・・・加工の技術を応用した・・部品に係る増産を要請されており、当社としてもこれを好機と捉え、・・・する計画を立てている。

しかしながら、現工場は・・・ことから、・・・は困難な状況にあるが、長年立地している・・市は・・・ため当地での再投資を検討し、・・工業団地の分譲を受け、新工場を建設し、・・・設備を導入し、・・・な工場を建設する計画に至った。

② 事業における数値目標及びそれを達成するために実施する内容を記載。（※400 文字程度で記載してください。）

《記載例》

○・・・部品の加工時間の短縮　　目標値：工程時間の 40%短縮

加工時間の短縮に向け、当社は・・・に関する技術を有しているが、設備が老朽化し、・・・に限界があり、最新の・・・・機を導入することで工程時間の短縮を図る。

○大型部品の加工・組立　　目標値：月産・・・個の生産

現在は、小物部品の加工を専門にしているが、主要取引先からは大型部品の・・・を要請されているため、これまで保有していなかった・・・機を導入し、組立工程も内製化することで、月産・・・個の生産を図る。

２．製品の説明

①　製造又は研究する製品（部品）の機能や加工方法の特徴を記載。
（※300 文字程度で記載してください。）

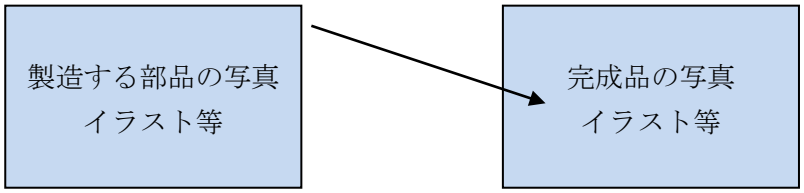
《記載例》

・・・部品は、自動車の・・・部分に使用され、・・・機能を担う部品である。
当社は・・・技術を有しており、・・・の点において強みがある。
・・・製品は、自動車の・・・部分に使用され、・・・機能を担う部品である。
当社は、主要取引先である・・・社から組立工程の移管を受け、当社で大型部品の切削加工から組立までを一貫して実施する予定である。

②　製品・部品の写真、イラスト等。（※最大 3 点まで記載可。）

《記載例》

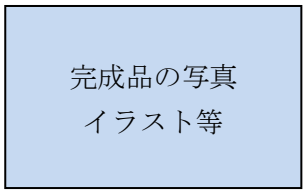
○・・・部品



※完成品のどの部分かを明示する。

（加工に特徴がある場合は、加工工程の写真等があっても良い。）

○・・・製品



○健康長寿関連分野の申請にあたっては、製品の効果が、健康長寿に貢献することを、客観的な科学的データで証明することが必要。

○農商工関連分野の申請にあたっては、国の農商工連携計画の認定を受けているか、又は、下記の①と②の双方を満たす計画であることが必要。

①農林漁業者と申請者が有機的に連携していること。（産地ブランド化や付加価値の高い農産品等を特別に生産・供給するなど両者に相乗効果があるもの。通常の仕入・取引はこの要件を満たさない。）

②両者にとって、これまで開発・生産したことのない新商品を開発すること。

添付資料②「今後(5 年間)の事業の見通しを説明する資料」

売上実績の背景と今後 5 年間の売上見込及びその根拠(市場規模、成長性、獲得シェア等)を記載。(※表の部分を除き、300 文字程度で記載してください。)

《記載例》

自動車産業を取り巻く環境は・・・・であるが、・・・・を背景に、当社の過去 3 年間の売上は堅調に推移している。

本事業を行うことにより、・・・が可能となることから・・・が図られ、・・・部品の売上は、平成・・年・月期の・・・億円が、5 年後には・・・億円まで拡大する見込みである。

・・・製品については、・・・車への採用が決定しており、今後・・年程度安定した需要が見込まれており、一貫生産の強みを活かして、・・・製品の当社市場シェアを・・%拡大する計画である。

以上の計画から、5 年後の当社の売上は・・・億円まで拡大する見込みである。

○売上実績(過去 3 期分)　（百万円）

	R5/3 期	R6/3 期	R7/3 期
会社全体の売上	3,123	3,100	3,345
対象製品(○○○)の売上	1,600	1,611	1,725

※製品が複数ある場合等は行を追加して記載

○売上見込(今後 5 期分)　（百万円）

	R8/3 期	R9/3 期	R10/3 期	R11/3 期	R12/3 期
会社全体の売上	3,500	3,700	3,900	4,000	4,000
対象製品(○○○)の売上	1,900	2,200	2,300	2,500	2,500

